

IV 平和と文化の発信

戦後文化資料等展示事業（予算額：約2,678万円）

沖縄市は全国的にも極めて個性的な戦後史を歩み、ユニークな文化を育んできました。この戦後史（文化）をまちづくりに活かそうと、沖縄市では商店街（パルミラ通り）にヒストリート・ヒストリートⅡという空き店舗を利用した展示室を設けました。ヒストリートでは常設展と年に数回の企画展を開催するとともに、「KOZA BUNKA BOX」という戦後情報誌を発刊して本市の戦後歴史文化情報を発信しながら、市民をはじめ、修学旅行生、大学関係者、観光客等を商店街に誘客し、中心市街地の活性化を図ります。

また平成28年度はヒストリートの拡充を目的に、新たなヒストリートに係る基本計画を策定します。



自治会公民館改修（補修）工事等補助金

（予算額：約3,747万円）

地域コミュニティの活性化に向けて、自治会公民館における地域活動を円滑にするために、施設の改修・補修の支援を行います。



IV 平和と文化の発信

市民会館改修事業（予算額：約8,099万円）

沖縄市民会館は、昭和55年10月の開館から平成28年度で37年目を迎えます。文化施設としての安全面、機能面、快適施設利用サービス向上を目的に、これまでは主に防衛9条交付金や沖縄振興特別交付金等を活用して、音響、照明、空調、舞台等各設備において耐用年数を超える部分の改修工事を行っております。今年度については、耐震診断調査の結果を踏まえ、沖縄市民会館の基本計画を策定します。今後は、その基本計画に基づき、市民会館の工事を行う予定です。



文化芸能推進事業（予算額：約4,414万円）

優れた文化芸術作品を鑑賞する機会を提供し、地域に根ざした個性豊かな市民文化の創造に努めます。また、文化芸能に親しみやすい市民参加型事業を実施し、文化芸能に対する関心・理解を深めるとともに、市民による文化活動を積極的に支援し、文化資源を活用した賑わいのあるまちづくりに取り組みます。



IV 平和と文化の発信

(仮称) 多目的広場整備事業

(予算額：約4億7,438万円)

現在、コザ運動公園にある屋内練習場は、手狭なうえに老朽化が著しいため、利用者から改善を求める声が出ており、炎天下や雨天時に、屋外スポーツが十分に行える代替施設の整備が望まれています。屋根付きの運動広場が整備されることで、天候に影響されずに屋外スポーツが行えるため、市民の健康増進や競技力の向上が図られるほか、災害時には救援物資庫としての役割も果たします。



図書館建設推進事業 (予算額：約3億9,156万円)

今の沖縄市立図書館は、建てられてから31年がたち、図書館がせまいことと駐車場が少ないことが問題となっています。そのため沖縄市は、平成23年から平成27年までの沖縄市の計画のなかに「新しい図書館づくり」ということを入れて、沖縄市中央にある商業施設であったコリンザ1階に図書館の整備を進めています。今年度は、平成27年3月に定めた「沖縄市立図書館整備基本計画」をもとに、新図書館のオープンに向けて、本や備品、システムの整備を行います。

